Creative Enzymes®

ネイティブヒトカルパイン1

Cat. No. NATE-0100

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	Caplain 1は、EFハンドモチーフを含む中性カルシウム依存性システインプロテアーゼです。このプロテアーゼは2つのサブユニットから構成されており、より大きなサブユニットはパパインおよびカルモジュリンとホモロジーのある4つのドメインを持っています。小さなサブユニットはカルモジュリンとホモロジーを共有する1つのドメインを持っています。これはマイクロモル濃度のカルシウムによって活性化されるため、マイクロカルペインとも呼ばれます。その活性化は細胞内タンパク質の分解、神□細胞の□性、そして多発性硬化症のような自己免疫性脱□疾患を引き起こします。
用途	ヒトカルパイン1は、ヒトカルパイン1および9の結晶構造が多□な作用機序と自己抑制を示唆する方法を評価する研究に使用されました。ヒトカルパイン1は、選□的カルパイン阻害剤としてのN-ヘテロ環ジペプチドアルデヒドの合成、生物学的評価および分子モデリングを調□する研究にも使用されました。
別名	カルパイン1、μ-カルパイン; カルシウム活性化中性プロテアーゼI; EC 3.4.22.52

製品情報

由来	人間
形態	水性グリセロール溶液
EC番号	EC 3.4.22.52
CAS登□番号	78990-62-2
緩衝液	20 mM イミダゾール-HCl、5 mM β-メルカプトエタノール、1 mM EDTA、1 mM EGTA、30% グリセロールの溶液。
代謝□路	アルツハイマー病、特定生物系; アルツハイマー病、保存された生物系; アポトーシス、特定生物系; アポトーシス、保存された生物系; 焦点接着、特定生物系; インテグリン媒介細胞接着、特定生物系; 小胞体におけるタンパク質処理、特定生物系
機能	カルシウムイオン結合; カルシウム依存性システイン型エンドペプチダーゼ活性; ペプチダーゼ活性; タンパク質結合

保管・発送情報

保存方法	−70°C